

ワケあり区、足立区。

令和6年9月 足立区長定例記者会見

－ 第3回 足立区議会定例会前 －

2024 9 11

ワケあり区、足立区。

1

「台風第7号」への対応から見えてきた課題(8/13-16)

1 福祉避難所の開設

2 一時滞在施設の開設準備

見えてきた新たな課題と、新たな基準の設定

1 “障がい福祉センターあしすと”に初開設

- 要支援者個々人の避難計画書は策定済
- 支援関係者への情報提供を逐次行ったことで、区の体制把握につながり、避難希望者数が確定する前に移送やケアの体制を確保できた
- 避難支援が必要かを迅速に確認

避難対象者**30**人のうち、避難希望者**3**人を移送

新たな課題

避難行動要支援者の避難先の確保

設備が整っているとはいえない区立施設で要介護者を受け入れ、適切なケアができるのか

次のシーズンまでに改善

区内特別養護老人ホームの空床を活用し、新たな避難先にできないか検討を開始

2 帰宅困難者に備え、開設を準備

区内を走る鉄道は運行していたため未開設

災害対策本部会議で開設準備を決定

北千住駅 → 千寿本町小学校

綾瀬駅 → 綾瀬小学校

今後の課題

- ・ 開設場所の選定
- ・ 事前訓練の実施

これまで

状況を見て、開設・閉鎖を判断

対応に遅れが出る前に

台風第7号をきっかけに

今後

新たな水害時の基準を設定

開設基準

- 北千住駅または綾瀬駅に停車するいずれかの公共交通機関※が運休する場合
- 復旧の目途がたたない場合

閉鎖基準

すべての公共交通機関の運行が再開した場合

※ 対象は、JR・つくばエクスプレス・東武鉄道・東京メトロの4鉄道事業者

ワケあり区、足立区。

2

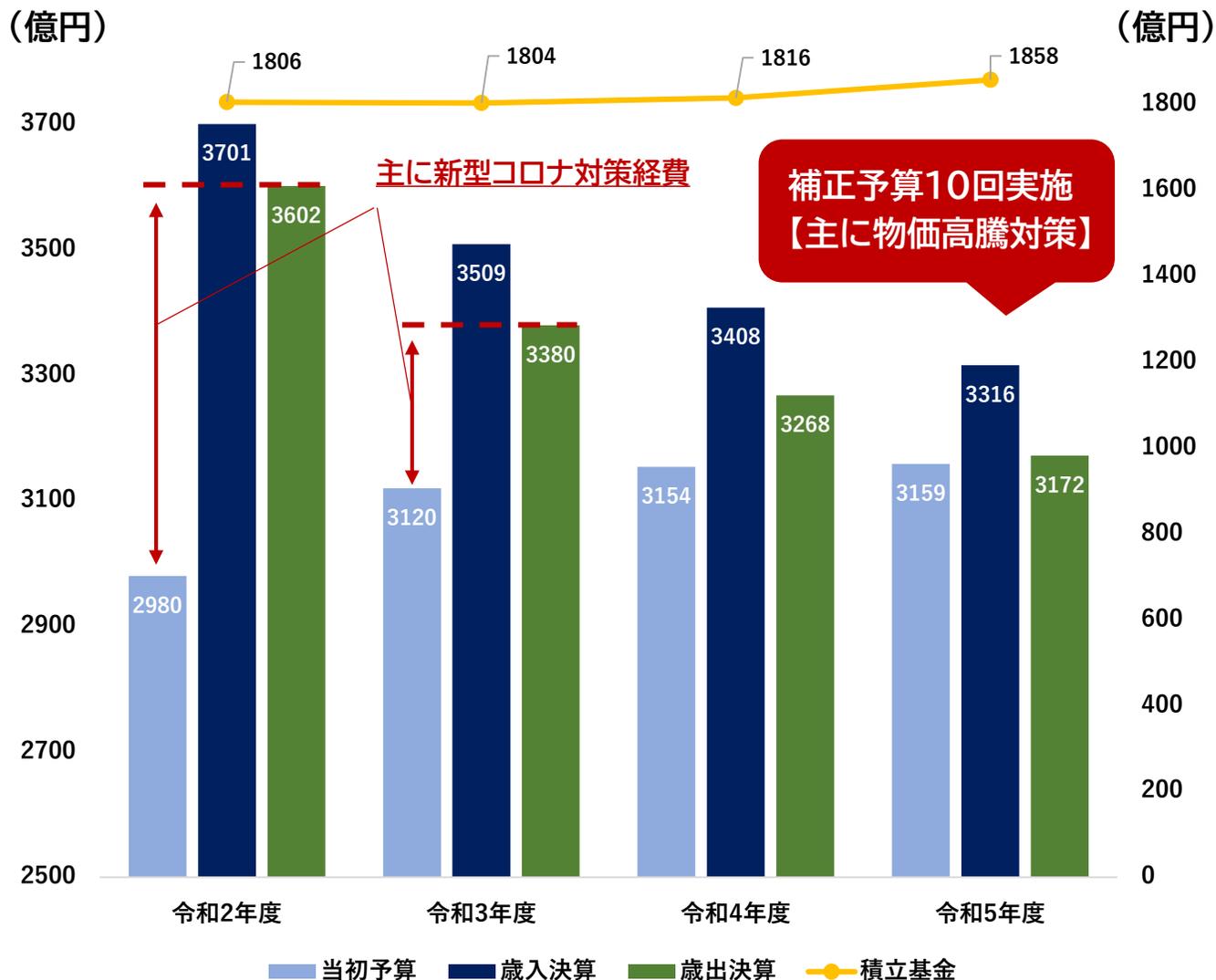
令和5年度 普通会計決算について

明日のあだちへ。安心と活力を

令和5年度 普通会計決算の状況

※ 金額等は、表示単位未満の端数調整をしていないため、加減乗除した数値が一致しない場合があります。

普通会計決算額と積立基金残高の推移



経常収支比率 **78.6%** 【令和4年度:75.9%】 ←前年度比2.7ポイント増

昨年度に比べ、やや硬直化するも適正水準を維持

3年連続

歳入

3,316億円



前年度比
93億円減

区民税・財調交付金は増加、国庫支出金は減少

↑	納税義務者の増・給与水準向上による区民税の増	+13億
↑	原資である都税収入の増に伴う財政調整交付金の増	+11億
↓	新型コロナウイルス感染症関連などの国庫支出金等の減	-121億

歳出

3,172億円



前年度比
97億円減

義務的経費は増加、投資的経費は減少

↑	障がい者自立支援給付事業増などによる義務的経費の増	+21億
↓	小・中学校の改築校数減などによる投資的経費の減	-56億
↓	新型コロナウイルスワクチン接種事業などその他経費の減	-61億

【物価高騰対策】 主な取り組み

区民生活を支える 約 **116.4** 億円

- 低所得世帯(住民税非課税世帯、均等割のみ課税世帯、家計急変世帯)への臨時給付金
- 低所得の子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯、その他世帯)

子どもたちを支える 約 **7.6** 億円

- あだち子どもの未来応援活動助成金
- 小中学校要保護・
準要保護児童生徒就学援助事業
- 区立小中学校給食食材費

経済活動を支える 約 **35** 億円

- 切れ目のない消費喚起策
 - ① レシートde90周年
 - ② プレミアム商品券
 - ③ キャッシュレス決済還元
- 中小企業融資事業の新たな借換資金制度
- 小規模事業者経営改善補助金の申請増への対応
- IT・IoT導入補助金

事業者を支える 約 **7.4** 億円

- 運輸事業者に対する支援
- 介護サービス事業所への支援
- 障がい福祉サービス等事業所への支援
- 保育施設・私立幼稚園等への支援
- 公衆浴場への支援

約 **167** 億円の物価高騰対策を講じた

【区財源】 約48億円

【物価高騰以外】 主な取り組み

新 = R5年度新規

1 大規模災害の備え

合計606,318千円

新 簡易トイレ備蓄の啓発

136,500回分を配付

12,092千円

耐震化対策

耐震診断・改修設計助成 401件

526,536千円

老朽家屋実態調査

一部員傷	緊急性なし	計
272件	1,404件	1,676件

11,000千円

簡易トイレの避難所配備

679,600回から826,000回分へ拡充

12,063千円

避難行動要支援者対策

個別避難行動計画の作成、福祉避難所の開設準備など

25,267千円

京成本線荒川橋梁部における越水対策(止水板導入費)の強化

19,360千円

2 子ども・若者 全力応援プラン

合計2,130,906千円

新 区立小中学校の給食費無償化

小学生 29,745名
中学生 13,586名

1,578,419千円

新 私立幼稚園・認定こども園の給食費無償化

5,899名に実施

300,644千円

新 返済不要の給付型奨学金

55名に給付

38,889千円

新 足立ミライゼミ

26名に支援

10,532千円

AIドリルの活用

区内小中学校全校(102校)、全学年に導入

202,422千円

3 SDGsの推進

合計104,262千円

新 あやセンターぐるぐる

来場者数(2店舗延べ)	6,932名
相談件数(累計)	127件
実現数(累計)	27件
イベント開催数	22回
イベント参加者数	334名



76,475千円

新 あだちSDGsパートナー

登録数191社、交流会3回開催

11,025千円

新 AIシステムを活用した食品ロス削減(実証実験)

R5.10月~R7.3月 4店舗

8,845千円

新 あだち子ども未来起業塾

応募総数69名、参加数44名

1,820千円

あやせに関する情報発信

特設サイトの運営、「ことりっぴ綾瀬」発行

6,097千円

ワケあり区、足立区。

3

3号補正予算案①

【足立区独自】物価高騰支援策

1 – ① 小規模事業者等

② 介護・障がい福祉施設等

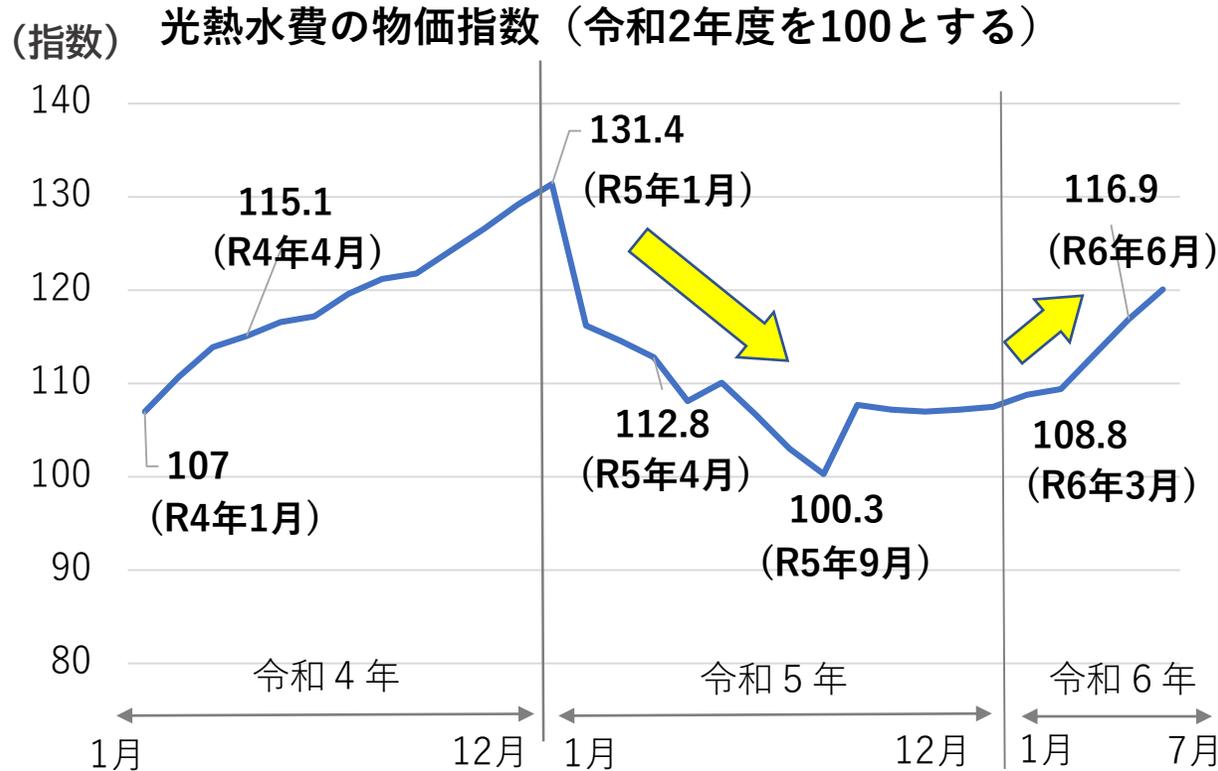
③ 私立幼稚園、保育施設等

2 学校給食

1 機を逸せず、区内事業者を応援

第3号補正
予算に計上

物価指数の状況



総務省「2020年基準 消費者物価指数 東京都区部」より作成

全て区独自財源

上昇基調にある物価により厳しい経営を強いられている区内事業者を対象に支援を行う

※②③と同趣旨の補助について、東京都が9月補正予算案を計上予定 (9月6日報道発表)

①小規模事業者等(設備購入等)

- 経営改善経費の2/3(上限200万円)
例) キャッシュレス機能付きの券売機の導入など
- 当初200件の想定(既に7月末で215件の相談)
→ 年間844件の相談、うち8割の交付を想定 → 年間 676件

事業者アンケート
(7月)では要望が
最も多い(64%)

【補正】433,508千円 【当初】400,000千円 【年間】833,508千円

②介護・障がい福祉施設等(光熱水費、ガソリン代、食材費等)

- R6.4月、報酬改定(3年毎)により事業者への報酬が微増
- 算出額(物価高騰分と報酬改定の差)の2/3を区が補助
- 介護事業所: 1,013施設、障がい福祉事業所: 414施設

事業者アンケート(7月)では「報酬改定のみでは対応できない」が約7割

【補正】314,118千円 (1年分)

③私立幼稚園、保育施設等(光熱水費、ガソリン代、食材費等)

- R5: 光熱水費やガソリン代のみ対象
- R6: 食材費なども対象
- 施設定員規模に応じた補助基準額を算定
- 私立幼稚園、認可保育園、保育ママなど: 385施設

事業者へのヒアリングでは
用途を限定しない支援を
求める声あり

【補正】36,014千円 (1年分)

補正額合計 783,640千円

2 小・中学生の“食”を守る

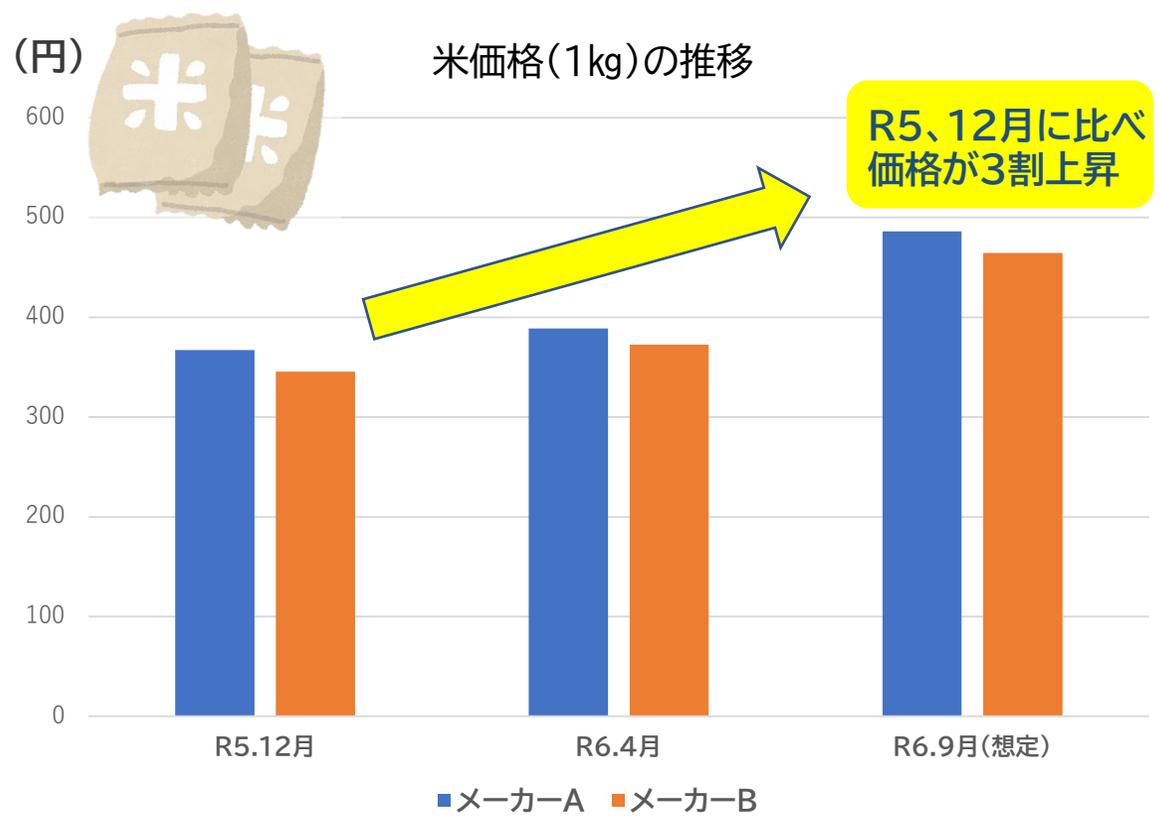
令和6年当初予算において

給食食材の価格高騰を受けて、学校給食費を120,914千円増額

さらに4月以降

「米」の価格が急激に高騰したため、食材費を増額して、小・中学校の給食の質を維持する

米価格の推移(足立区栄養士会から提供された資料から作成)



補正予算額 34,007千円

	補正金額	算出方法 【1食あたりの影響額×人数※1×回数※2】
区立小学校 (67校)	21,139千円	5.71円×29,150人×127回
区立中学校 (35校)	12,868千円	7.84円×13,400人×122回 【夜間】7.84円×50人×128回

※1 令和6年5月1日現在の児童生徒数を基に算出
 ※2 令和6年9月から令和7年3月までの給食回数

▶ 足立区の給食一例
 食材価格が高騰しても、栄養
 バランスのとれた給食を提供



補正予算額についても、東京都公立学校給食費負担軽減事業補助金(1/2補助)を活用予定

ワケあり区、足立区。

4
3号補正予算案②

ICTを活用した新たな高齢者施策

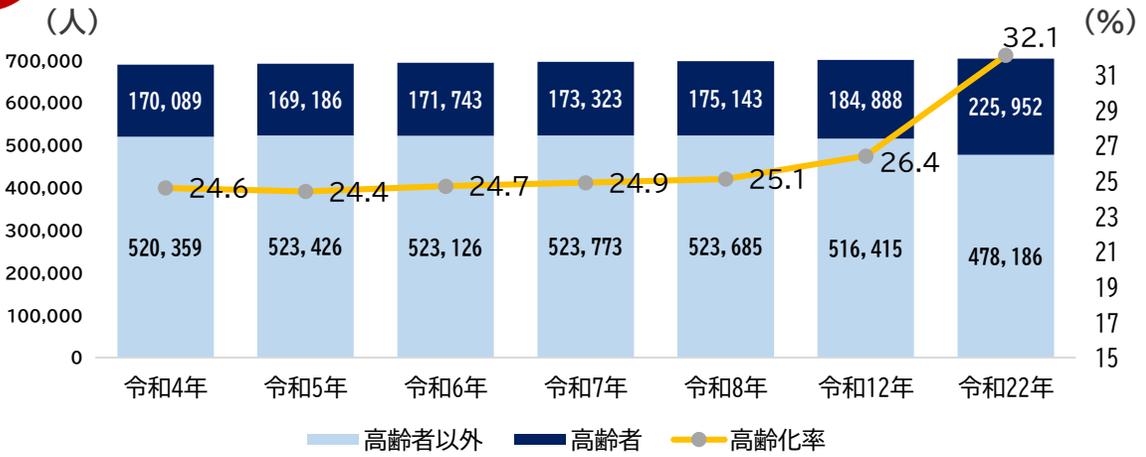
効果的な支援を目指した挑戦

新規事業

ICTを活用した認知症早期発見・プッシュ型介護予防

現状1

今後も増加予想の「区内高齢者人口及び高齢化率」



現状2

国は、高齢者人口の12.9%が認知症と推計(令和7年)

区内認知症高齢者数の推計	
令和7年	22,359人

区が取り組まなければならないこと

- ① 認知症予防・介護予防事業のさらなる強化
- ② エビデンスに基づいたより効果的な施策展開

新規事業

LINE を活用した 認知症早期発見・プッシュ型介護予防事業



高齢者にも
使いやすい
操作性を追求

東京都
子供・長寿・居場所
区市町村包括
補助事業

採択

補助対象：6年度～8年度

補助額：各年1億円

補助率：10/10

3
年
間
で
構
築
へ

都補助終了後に向けての展開

- 令和6年度～令和8年度までの事業構築
- 合わせて、既存の介護予防事業の再構築を検討

ICTを活用した認知症早期発見・プッシュ型介護予防事業の特徴

Point1

豊富なコンテンツメニュー

時間や場所、回数に制限なく取り組める！

- J-MCI(認知症リスク早期発見プログラム)
- 暮らしの脳トレ(1,000問以上)
- オンデマンド配信介護予防動画(400種以上)



個々の状況に応じたメニューを提供

➡ 予防事業のメニュー拡充を実現

Point3

活動を後押しするプッシュ通知

利用者の状況に応じて通知を発信！

- 日頃の活動状況に応じた励ましメッセージ
- 定期的に体力と認知機能の測定を促す

定期的な対面の測定会を企画
『はつらつ測定会』

予防の動機付けや早期発見へ

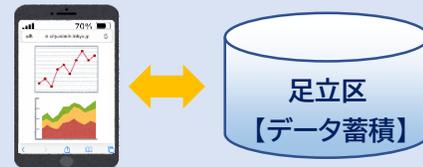
➡ 状況に応じた個別アプローチ

Point2

利用状況などデータ化

利用者の活動状況や測定結果が見える化！

- 自身のスマホのマイページに反映
- 区のデータベースにも蓄積



自身で管理、区はデータ活用で施策に反映

➡ データを分析、新たな施策を展開

Point4

デジタルデバイド対策

スマホ操作などサポート！

- 登録サポート会
 - ・ 120回(5回/月×2年間)
 - ・ ID登録～利用方法について分かり易く解説
- スマホよろず相談
 - ・ 120回(5回/月×2年間)
 - ・ スマホに関する一人ひとりの疑問や相談に対応
- 事業参加用スマホの無償貸与(100台)
 - ・ スマホを持っていない事業参加希望の高齢者に、最長2年間無償で貸与
 - ※ 特殊詐欺被害や悪用リスクへの対策として電話機能は制限
 - ・ 通信費も含めて無償(MDM設定あり)
 - ・ 貸与者向けスマホ講座も実施

スマホを持っていない・苦手な方にも対応

➡ ニーズに寄り添ったサポート

ワケあり区、足立区。

5

3号補正予算案③

旧入谷南小学校跡地を災害拠点施設に整備

避難所に対する円滑な物資支援の促進

災害拠点施設の現状と課題①

現状1

7カ所中6カ所[※]が
築35年超かつ浸水する可能性大

※ 保木間拠点備蓄倉庫を除く

課題1 備蓄スペースの不足、浸水リスク

現状2

3つの地域内輸送拠点[※]がすべて屋外施設

※ 都立舎人公園・都立東綾瀬公園・区立保木間公園

課題2 物資が風雨にさらされるリスク

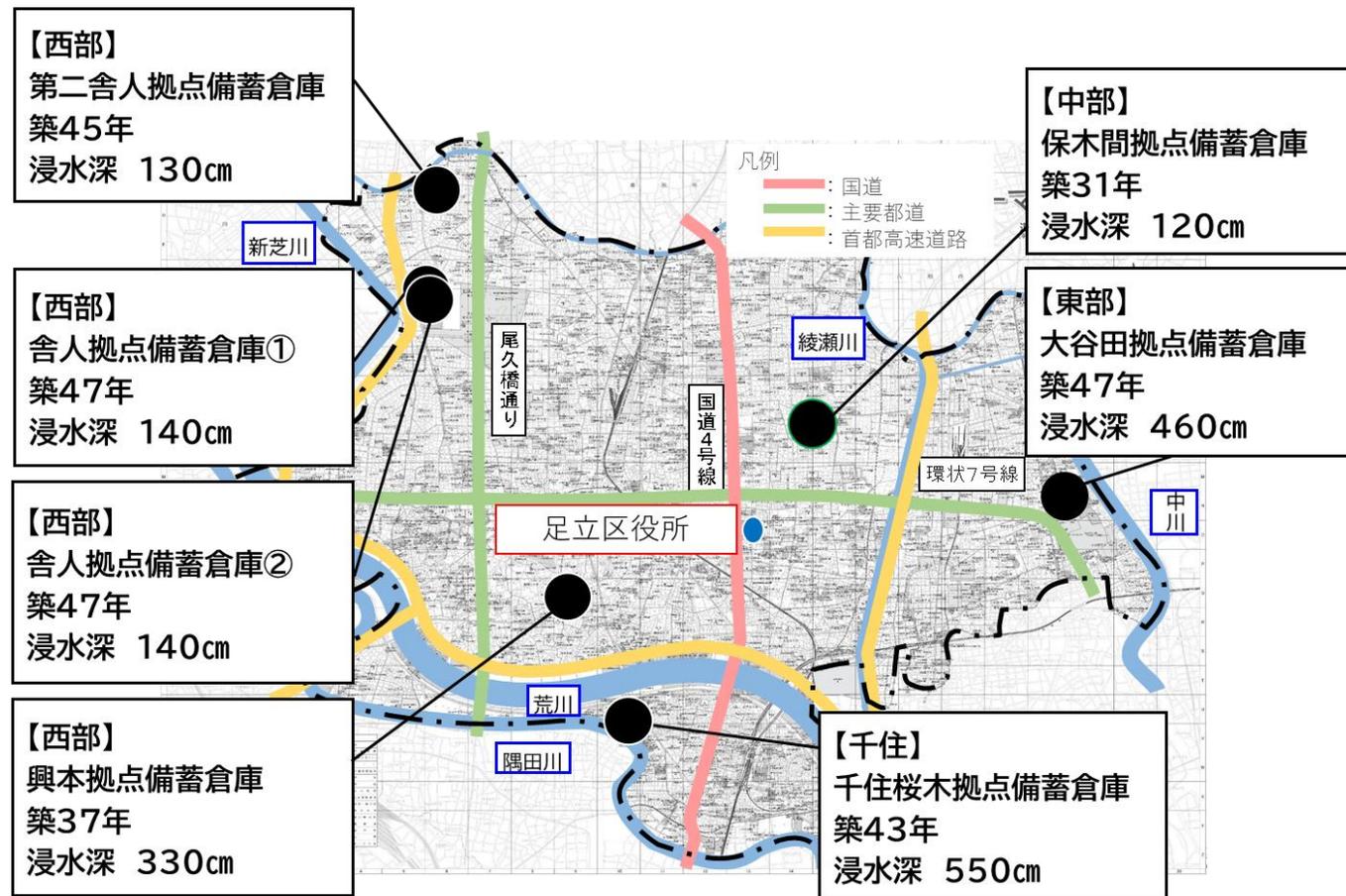
現状3

備蓄物品等の管理・輸送体制が不十分

課題3

- 棚卸しが年1回のみで、物品の管理・保存状態が最新ではない
- 災害時の物資を輸送する際、迅速性、確実性に欠ける

現在は、7カ所で管理



● 災害拠点倉庫

災害拠点施設の現状と課題②

現状1

7カ所中6カ所[※]が
築35年超かつ浸水する可能性大

※ 保木間拠点備蓄倉庫を除く

課題1 備蓄スペースの不足、浸水リスク

現状2

3つの地域内輸送拠点がすべて屋外施設

※ 都立舎人公園・都立東綾瀬公園・区立保木間公園

課題2 物資が風雨にさらされるリスク

現状3

備蓄物品等の管理・輸送体制が不十分

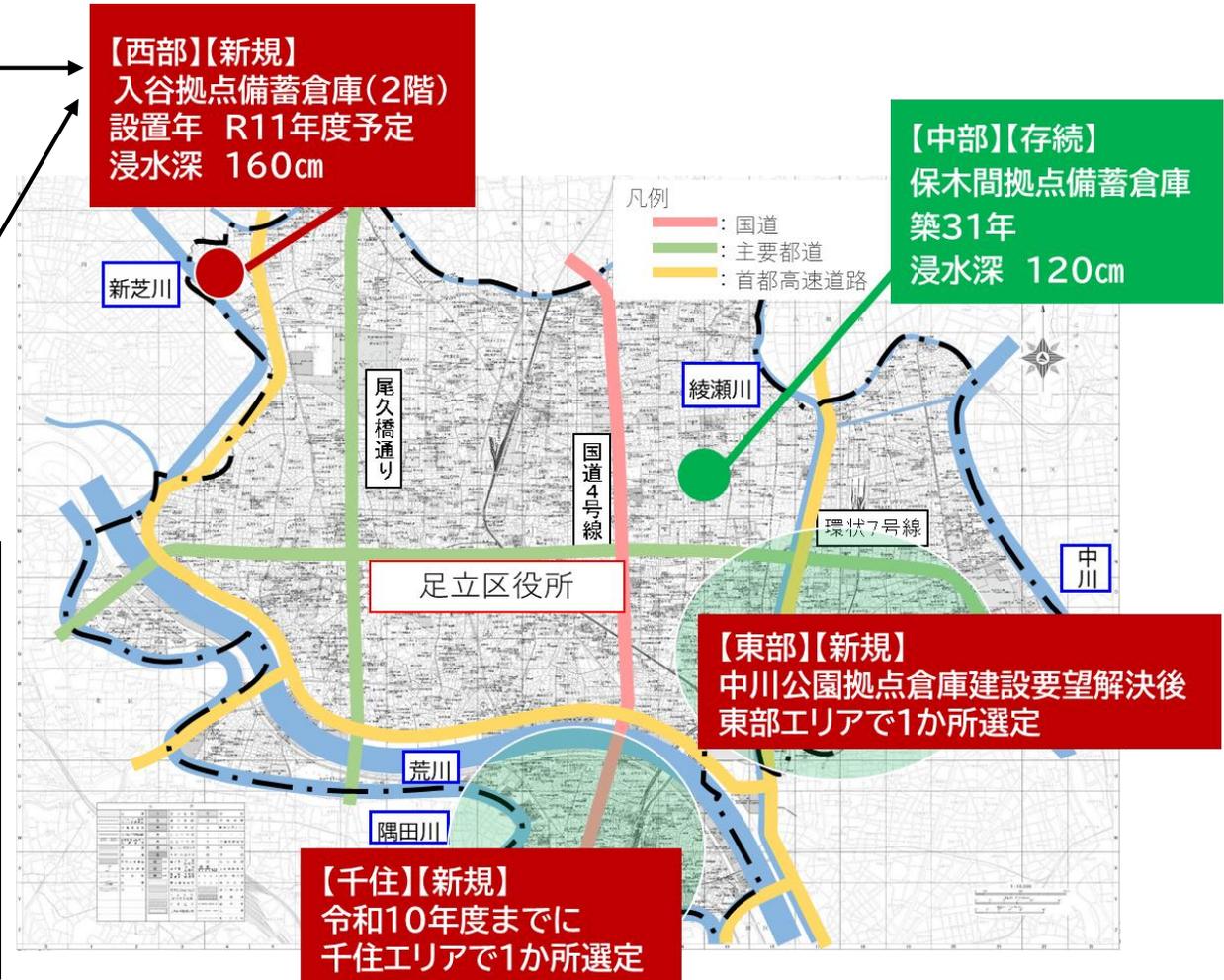
課題3

- 棚卸しが年1回のみで、物品の管理・保存状態が最新ではない
- 災害時の物資を輸送する際、迅速性、確実性に欠ける

解決に向けて

業務を一体的に委託

今後は、4カ所に集約



平時・災害時の「備蓄＋輸送体制」を強化

第3号補正
予算に計上

課題1・2
の解決に
向けて

西部エリアの備蓄倉庫を再編

旧入谷南小学校跡地 に
災害対策拠点施設 を新設

【イメージ図】

NEW
①

災害発生2・3日目分に相当する食糧と水の配備が可能

2階 災害備蓄倉庫

床面積約4,000㎡は、同小
の体育館4.5個分の広さ

5.5m
程度

1階 地域内輸送拠点

屋根付きの荷捌き場

5.5m
程度

NEW
②

物資を受け入れ、避難所等へ輸送する拠点機能が実現

→ 地域住民が利用出来るスペースを検討

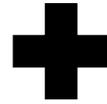
令和6年度ゼロ債務 令和7年度予算計上予定

災害拠点施設整備をするための
基本計画作成委託に関連する経費

事業費

21,010千円

※ 具体的な配置は基本計画検討の中で精査します



課題3の
解決に
向けて

備蓄物品等の管理・輸送業務を委託

R7.4~

民間のノウハウを活用し

一体的な管理体制 を構築

- 災害拠点倉庫(7カ所)
- 第一次避難所(区立小中学校等)
- 第二次避難所(福祉避難所) 等

Point1

購入から納品、管理を同一事業者が対応することで、物品の管理・保存状態が常にアップデート

Point2

施設管理、運搬業務を含む
包括的な委託で職員負担を軽減

Point3

災害時の迅速かつ確実な輸送を実現

ワケあり区、足立区。

6

2号補正予算【議決済】

第2弾 自転車カギかけありがとうキャンペーン

鍵かけの習慣化を促進

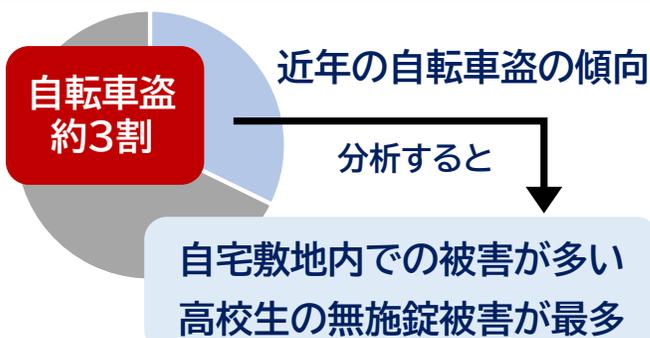


足立区と、区内マクドナルドが再タッグ！

令和5年
第1弾

自転車カギかけ
ありがとう
キャンペーン

令和5年11.12月 第1弾実施



区内マクドナルドと連携

- 区内都立高校9校で啓発活動
- 放課後に“鍵かけをした高校生”に対し「ありがとう」の感謝の気持ちを伝える
- クーポン付き感謝カードをお渡し

▶ 生徒会と協力して実施

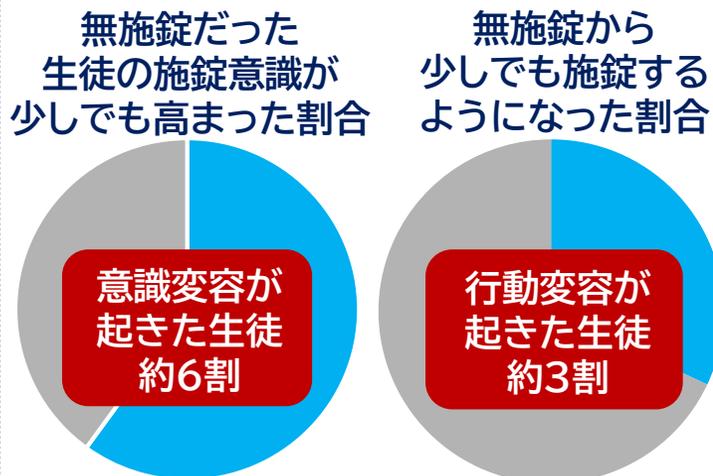


効果
検証

令和6年3月、実施校に
アンケート調査を実施
総回答数1,009件

2か月後→

令和6年3月 アンケート実施



成果があった一方で…

BUT

アンケート時の施錠率チェックでは、第1弾実施前とほぼ変わらない結果に…

第2弾の
ポイントは!!

施錠の
習慣化

令和6年 第2弾

自転車カギかけ

ありがとう

キャンペーン

1,719千円

クーポン券・感謝カード印刷費用、グッズ制作費用等

第2弾は施錠率に応じてもらえるクーポンが変わる

NEW①

キャンペーンを各校で周知

区職員が**始業式・文化祭**にお邪魔し出張PR

ステップ1

キャンペーン周知

習慣化の
ポイント

ステップ2

9月～12月に施錠状況を2回抜き打ちチェック

ステップ3

各校で施錠率の結果発表



NEW③

施錠率が最も高い高校に限定グッズを贈呈

生徒会等を中心に**ぬいぐるみキーホルダー**を企画

- 施錠率が最も高かった高校がゲット
- 5色、120種を超えるイラストから選択
- 高校名の刺繍入り



ビュー坊のぬいぐるみ
キーホルダー

NEW②

施錠率に応じたクーポン券をプレゼント

区内17店舗で使用できるクーポン券を配付

アンケート回答者の約5割がポテトを希望！

施錠率	配付するクーポン券の内容
80%以上	Lサイズ 380円 ※のマックフライポテト®全サイズが 150円 に
70%以上	750円 ※のビッグマック®セットが 580円 に
60%以上	240円 ※のドリンクMサイズが 100円 に

※ 一部店舗及びデリバリーでは価格が異なります

各高校の生徒会等の生徒を中心とした
キャンペーン活動で鍵かけの機運向上を目指す

**カギかけの習慣化を
学校全体のムーブメントに！**

ワケあり区、足立区。

7

千住宿 開宿400年

千住の魅力を区内外に発信

来年は千住宿開宿400年！

江戸最大の宿場町

千住宿

五街道に数えられる日光道中・奥州道中の最初の宿場町で、江戸の宿場町で最大の人口(約1万人)を誇り、大いに栄えた。

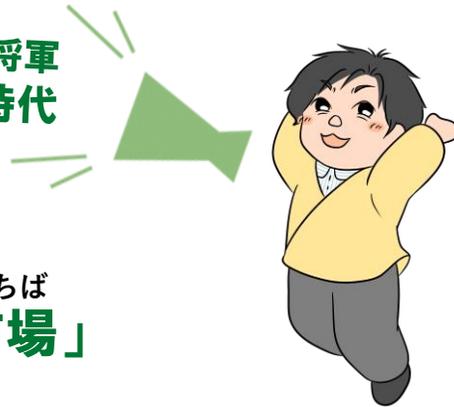
開宿年

1625年(寛永2年)

三代目将軍
徳川家光の時代

栄えた理由

- 1 恵まれた水運・陸運
- 2 江戸の三大青物市場「千住市場」
いちば
- 3 平坦で拡張性のある土地



足立区郷土博物館に実在する
学芸員 コバヤシ
(ビビビ美アダチ ナビゲーター)

「美と知性の宝庫」とも称される千住

多くの商人が集まる流通の町として栄え、豊かな経済力により、江戸の文化人と交流するほどの教養を持った人々が独自の文化を築いた。

千住の現在

都内唯一宿場の面影が残る町



彰義隊が柱につけた刀傷が残る「横山家住宅」

寺院や旧家に当時の交流の記録が数多く存在



関屋里元追善集より白梅図
(谷文晁)



十二月花卉図屏風(村越向栄)



来年度、記念事業を実施予定！

記念事業の目的

目的
1

足立区のキータウン「千住」の魅力を区内外に広くPRし、来街者の増加を図り、地域・経済の活性化につなげる。

目的
2

レガシーとして多様な主体の繋がりを次年度以降に遺していくため、地域団体・企業、区民による企画の支援を積極的に行う。

買い物・グルメ・遊ぶ等、
様々な視点で千住をPR

秋頃を中心に、
歴史を振り返る企画や
街を盛り上げるイベント
を検討中

地域と一緒に開宿400年を盛り上げていくため、
記念ロゴを作成しました！

記念ロゴは、こちらの4パターン！



SENJU JUKU
400th
since 1625



SENJU JUKU
400th
since 1625



SENJU JUKU 400th
since 1625

9/20

区ホームページ
で公開！

- 非営利のイベント・企画等は届出のみで使用できます！
※ 営利の場合は区の承認が必要
- 地域の企画には「まちづくりトラスト」を活用可能！

早速、わたしも使用しています！

名刺での使用例



「ビビビ美アダチ」から

表

近藤 やよい
足立区長

足立区

住居
SENJU JUKU
400th
since 1625

〒120-8510
東京都足立区中央本町1-17-1
TEL: 03-3880-5111 (代表)
<https://www.city.adachi.tokyo.jp/>

裏

初宿訪宿記念

ADACHI CITY 人口: 約70万人
面積: 53.25km²



ADACHI CITY